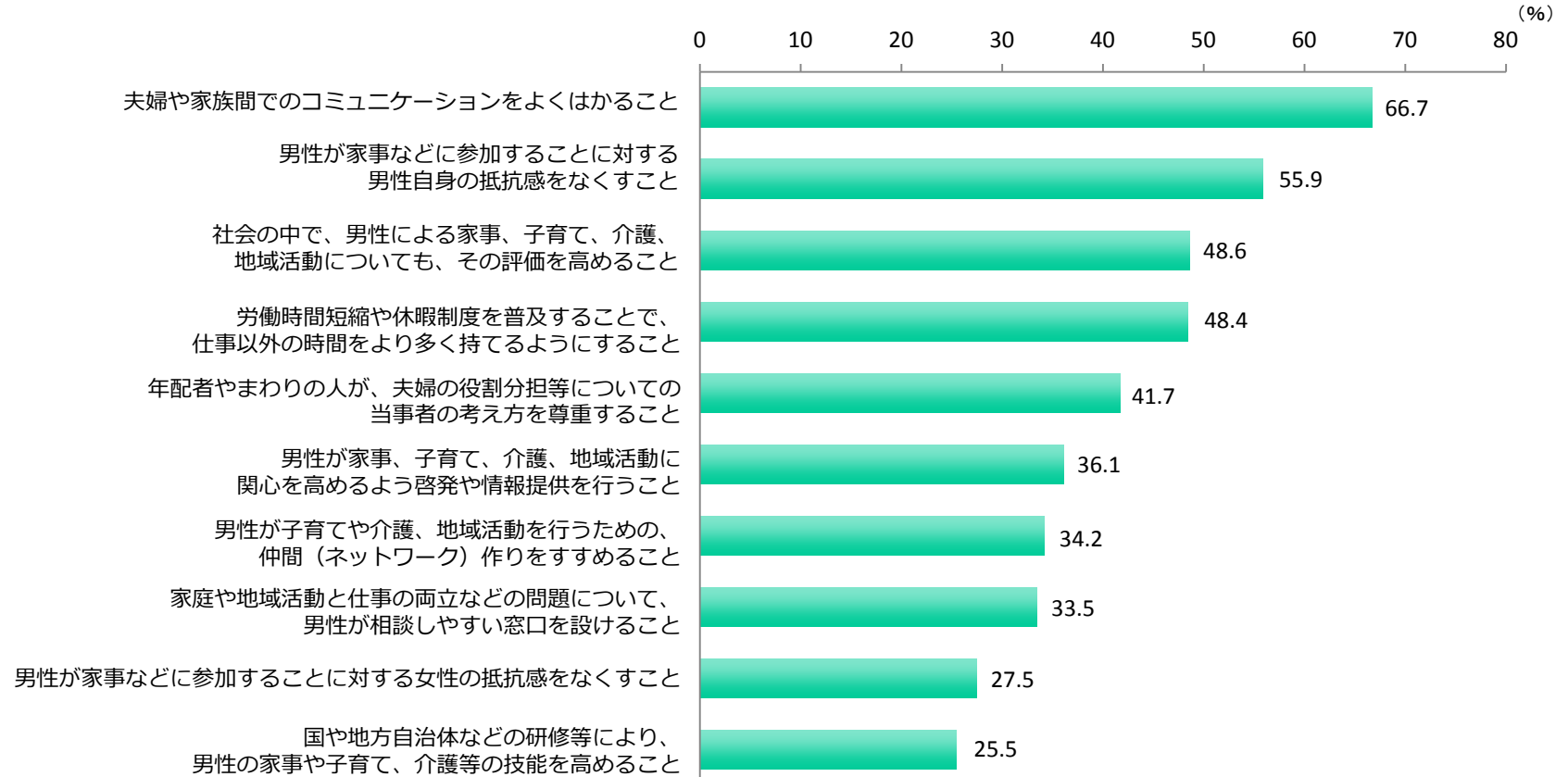


男性の家庭・地域参画

- ▶ 男性の地域参画(※)に必要なこととして、「夫婦や家族間のコミュニケーションをよく図ること」が最も多く挙げられています。
- ▶ 次いで、男性自身の抵抗感をなくすことや、社会での評価を高めること、労働時間短縮や休暇制度を普及することなどが挙げられています。

(※)男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加すること

男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加するために必要なこと（複数回答）



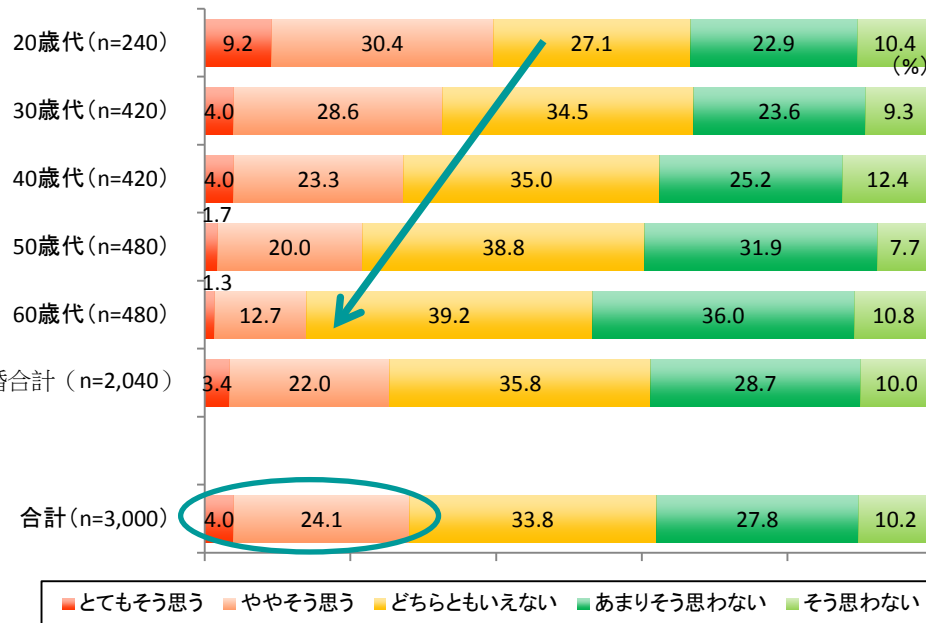
悩みの対処

- 「他人に弱音を吐くことがある」と回答した男性は、約3割となっています。
- 「弱みがあったら、気軽に誰かに相談してほしい」と回答した女性は、約6割となっています。

※男性、女性ともに既婚者による回答

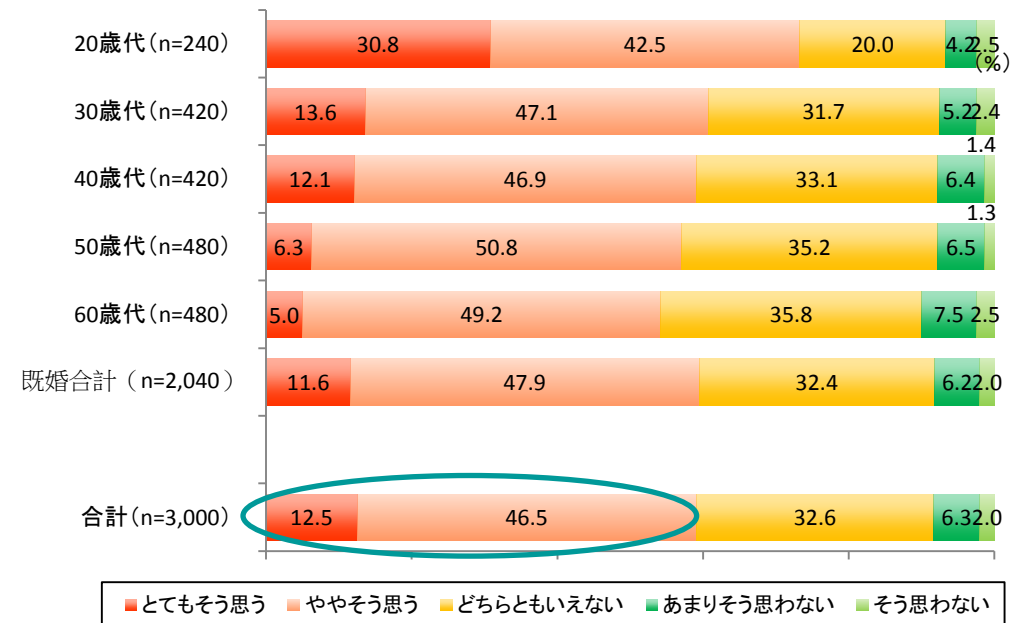
男性の回答※

他人に弱音を吐くことがある



女性の回答※

夫には、
弱みがあったら、気軽に誰かに相談してほしい



「そう思う」、「とてもそう思う」の合計が約3割

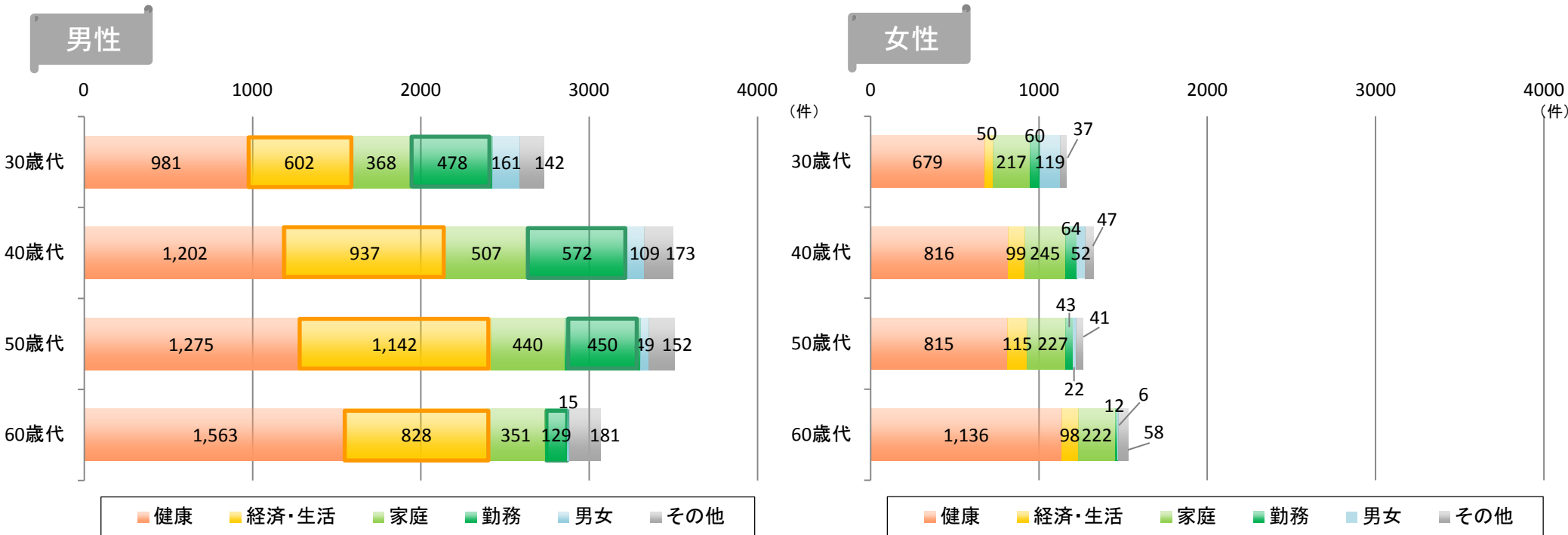


「そう思う」、「とてもそう思う」の合計が約6割

自殺の原因・動機

- ▶ 男女とも、自殺の原因・動機は「健康問題」が最も多く、男性は「経済・生活問題」「勤務問題」が多い傾向が見られます。
- ▶ 全ての年代において、女性よりも男性が多くなっています。

年齢別、自殺の原因・動機別件数



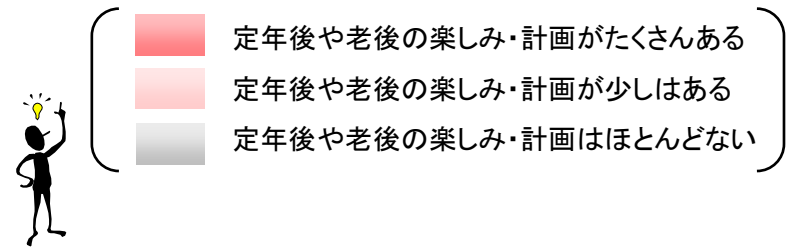
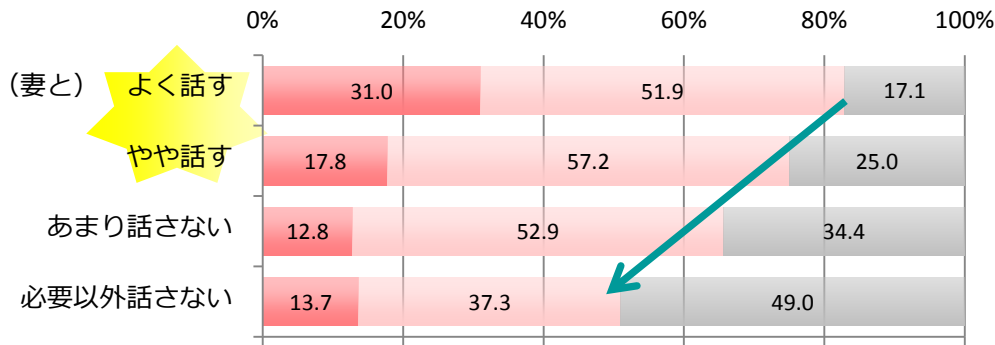
※平成19年に自殺統計原票を改正し、遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を自殺者一人につき3つまで計上することとしたため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と原因・動機特定者の和(20,256人)とは一致しない。

※「健康問題」「経済・生活問題」「家庭問題」「勤務問題」「男女問題」を、それぞれ「健康」「経済・生活」「家庭」「勤務」「男女」と表記している。

夫婦間のコミュニケーション

➤ (妻と)よく話す男性は、「定年後や老後の楽しみや計画がある」と回答する者が多い傾向が見られます。

「定年後や老後の楽しみや計画の有無」と夫婦間コミュニケーションとの関連



「何もやる気がしないと感じたこと」と夫婦間コミュニケーションとの関連

